

Liberte Arts College

リベルテ アーツカレッジ PART 3

キートーク：鈴木 励滋 さん

ザッゼンとひらいていく
喫茶カプカプの実践

セッション：
鈴木 励滋 さん × 荒井 洋文 さん

地域の中で
場を「ひらく」こと

障害のある人の表現と鑑賞をめぐる番外編

場を「ひらく」こと

2018年11月25日（日）14:00～17:00

犀の角（上田市中央2丁目11-20）

定員 40名 参加費 2,000円

企画  NPO法人リベルテ

お問い合わせ ☎ 0268-75-7883 ✉ mail@npo-liberte.org

障害のある人の表現と鑑賞をめぐる番外編

リベルテ アーツカレッジ

Liberte Arts College PART 3

場を「ひらく」こと



「開かれた場」って、
どういふことを
言っただろう？

現在、障がいのある人や独自で創作のルールをもとに制作し続けている人など、芸術や美術では取り上げられることが少なかったアートが注目を集めるようになってきています。作品や取り組みに出会ったとき、どう鑑賞し、またはいかに感動を言葉にして、どう人に伝えたいか？ということをテーマに2回に渡って講演企画しました。

今回は、「アートを使う」というテーマで、福祉の現場の意味を問い直すことを試みたいと思います。改めて福祉の「場づくり」を行っている実践に焦点を当て、人が表現をすることや、なぜそれを仕掛けていくのか。その根本について、アートを用いて「場をひらく」ことを考える機会にしたいと思います。

キートーク：鈴木 励滋 さん

『ザッゼンとひらいていく 喫茶カブカブの実践』

セッション：鈴木 励滋 さん × 荒井 洋文 さん

『地域の中で場を「ひらく」こと』

会 期：2018年11月25（日）

時 間：（開場）13:30 （開始）14:00～17:00 途中休憩有り

場 所：犀の角（上田市中央2丁目11-20）

定 員：40名 参加費 2,000円（予約優先）

キートーク・セッション

鈴木 励滋 さん（すずき・れいじ／生活介護事業所カブカブ所長・演劇ライター）

群馬県高崎市出身。1998年から横浜市旭区西ひかりが丘団地にて、障害がある人たちと喫茶店をやっている。演劇に関しては「ユリイカ」「埼玉アーツシアター通信」「げきぴあ」や劇団ハイバイのパンフレットなどに書いている。『生きるための試行 エイブル・アートの実験』（フィルムアート社、2010年）にも寄稿。師匠の栗原杉さん（政治社会学）との対談が『ソーシャルアート 障害のある人とアートで社会を変える』（学芸出版社、2016年）に掲載された。

セッション

荒井 洋文 さん（あらい・ひろふみ／一般社団法人シアター&アーツうえだ代表）

上田市出身。公益財団法人静岡県舞台芸術センター制作部に所属後、上田市で文化事業集団「シアター&アーツうえだ」を発足、街中や里山での演劇を軸とした文化芸術活動のプロデュース等を行っている。2016年、上田市海野町の空き店舗をリノベーションし、演劇やアート活動、ライブ等で使用できるイベントスペースとゲストハウスを備えた民営文化施設「犀の角」をオープン。様々な表現活動や地域住民・アーティストの交流の場として運営している。



会場地図



企画／講演予約／お問い合わせ



特定非営利活動法人リベルテ

長野県上田市中央4丁目7-23

☎ 0268-75-7883

✉ mail@npo-liberte.org

➡ http://npo-liberte.org



ご予約の際は、お名前・ご連絡先・人数をお知らせ下さい。